

あべこういち 県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

コロナ、次の波にどう備えるか!!

～阿部県議、議会質問で執行部に問う～

新型コロナウイルス対策で集中質疑

千葉市稲毛区選出で自民党県議団の中心的役割を担う阿部絏(あべ・こういち)県議は、9月定例県議会の一般質問に再び登壇し、県民・市民の命と健康を守る立場から、新型コロナウイルス感染症対策に絞って集中的に質疑を交わしました。

阿部県議は、コロナ対策の最前線で働く医師、看護師など医療従事者に対し深く感謝の言葉を述べるとともに、感染症対策に係る専門部会の機能強化など厳しく指摘し、実効性ある部会運営に変えるよう強く求めました。今回の阿部県議の県政報告は、新型コロナウイルス対策に特化して、特集をお届けします。



フェイスシールド姿で登壇した阿部県議

専門部会の在り方

阿部議員 コロナ最前線で命を懸けてコロナと戦っている医療従事者の皆さまに心から感謝を申し上げます。私の今回の質問は、第一波、第二波の経験を次の波にどう生かすのか、私の提案を含めて執行部にお伺いするものです。

最初に「千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部」と「新型コロナウイルス感染症対策に係る専門部会」の在り方について、お伺いします。

新型コロナウイルス感染症対策に係る専門部会の位置づけを明確にし、機能アップを図るべきと思います。

2つの専門部会の1つにおいて特化してモニタリングの分析、評価、方針等を出していただくなど、機能強化とその位置づけを明確にしていきたい。形式的な専門部会の運営ではなくて、実効性のある部会運営や仕組みに変えていただきたい。

医療資材不足ないか

阿部議員 新型コロナウイルス感染症の医療・検査体制について、伺います。消毒用アルコール、グローブ、医療用N95等95等の不足が医療現場から上がっていたが、現状及び今後の対策はどうか。

渡辺保健医療担当部長 消毒用アルコールは、国

PCR検査機器の購入

阿部議員 新型コロナウイルス感染症の医療・検査体制について伺います。PCR検査機器等の購入促進について、どのように取り組んでいるのか。

森田知事 県では、国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、医療機関や検査機関が整備するPCR検査機器等の購入に対して補助を行っているところです。具体的には、6月補正予算を活用し、20台のPCR検査機器等の購入に対して支援するほか、9月補正予算では、さらに23台分の購入について計上し、合計43

検体採取能力の増加

阿部議員 PCR検査等の検体採取能力を増やすためには、検査協力医療機関を増やすことが重要だと思っております。渡辺保健医療担当部長 検査協力医療機関は、飛沫予防策や患者動線に分けるなどの必要な感染対策を行い、帰国者・接触者外来と同様に検体採取や検査を行うことができる医療機関です。

検体採取についてこれまで帰国者・接触者外来や、地域外来・検査センターを中心にやってきたところで

9月議会に再び登壇

9月補正予算で追加の購入費用を計上しているとのことです。

希望 心のためにも、希望する方にはPCR検査抗原・抗体検査等を公費負担で実施していただきたい。

●県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見をお聞かせください

あべこういち 県議事務所

〒263-0043 TEL.043-287-8595
 千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401 FAX.043-285-2192

阿部絏 検索 ホームページ <http://abe-koichi.com/>

コロナ特集

県民の視点で県政を考える



執行部とコロナ対策で協議

長期化で負担大きく

阿部議員 感染症対策の最前線となる保健所の現状と体制強化への取り組み状況はどうか。

森田知事 新型コロナウイルス感染症に関する保健所の業務は、1日最大2千500件の電話相談をはじめ、検査、感染者等の行動履歴調査、入院調整、患者搬送など多岐にわたり増大し、また長期化していることから、職員の負担が大きくなっています。

もに、延べ2千名を超える応援職員の派遣や、患者搬送に係る業務の外部委託など、保健所業務の負担軽減に努めているところです。

要望 保健所の基盤を強化し、県民の健康・命を守る機関として、適切な責務を果たしていくため、千葉県としても、他の部局から応援職員を派遣するということではなく、感染症に知見や知識のある恒常的な人員体制の強化及び予算の増額を要望します。

保健所の体制強化を要望

このため県では、臨時職員を順次16名増員すると

直近7日間平均の比較

阿部議員 緊急事態宣言解除後と現在の、新型コロナウイルス感染者の直近7日間平均の新規感染者数、重症者数、60歳以上の割合及びPCR検査の陽性割合はどうか。また、県は今後どのように対応するのか。

0:6人、重症者数は6人で、感染者数に占める60歳以上の割合は25.0%、7日間平均のPCR検査の陽性割合は0.21%でした。

一方、9月29日現在では、直近7日間平均の新規感染者数は27.6人、重症者数は6人で、感染者数に占める60歳以上の割合は13.0%、7日間平均のPCR検査の陽性割合は3.68%となっています。

現在の病床稼働率

阿部議員 現在の病床数と病床稼働率はどうか。また、重症者への対応が重要と考えるが、重症患者用の病床及び人材は確保できているのか。

確保病床数に占める入院患者の割合である病床稼働率は、26.5%で、8月のピーク時と比べると半分以下になっています。

また、635床のうち、人工呼吸器やECMOでの対応が必要となる重症者用の病床として54床を確保しています。病床稼働率は11.1%で、低い水準で推移しています。

自宅待機者の理由

阿部議員 自宅待機者数ほどのように推移しているのか。また、自宅待機の理由は何か。

解除後、7月上旬から新規感染者数が再び増加したことに伴い、自宅待機者数も徐々に増え、8月11日には157名とピークを迎えましたが、9月29

日現在は50名となっています。また、自宅待機となっているのは、入院や宿泊に向けて調整中の方、介護や子育て等の理由でやむを得ず自宅療養とならざるを得ない方などです。

容体急変時への対応

阿部議員 自宅待機者の容体急変時の対応と、家庭内感染の防止についての取り組みはどうか。

渡辺保健医療担当部長 現在、保健所は毎日電話等により健康状態の確認を行っており、必要に応じて医療機関の受診を促しています。

容体急変時には、休日夜間を問わず、速やかに医療機関を受診できるよう体制を整えています。

家庭内感染の防止については、手洗い・アルコール消毒、換気等一般的な感染対策のほか、生活空間を分けることやドアノブ等共用部分をこまめに消毒すること、ごみの捨て方など、家庭でのさまざまな対策等ポイントをまとめたリーフレットを作

子ども医療費で提言

阿部議員 その他の意見として、この時間を借りて申し上げたい。

いつも執行部に対し、千葉県市長会から重要な要望が出ている「子ども医療費」の問題についてです。県市長会から寄せられてきたものが、何年経っても解決できません。これは有権者、住民の接点にある県市長会や、市民・県民からの要望を取りまとめているものです。どうか要望については、しっかりと受け止めていただき、優先施策として実行していただきたい。

から、引き続き警戒が必要な状況と認識しています。

要望

医療の現場での看護職は、緊張状態が続いており、4週間以上の緊張状態はメンタルヘルスへの影響が明らかであると考えます。適宜休暇を入れることは極めて重要なことから、新型コロナウイルス感染症患者に関わった看護職に対して、1週間程度の特別休暇を付与するよう、県立病院が先行して実施していただくことを要望します。

いよいよ

私の政治姿勢は、執行部と「是々非々」の立場で「緊張感」をもって向き合い、その根本は「市民、県民の

秋も深まり、紅葉の季節となりました。皆様には、私の県政活動にご理解とご指導を頂いており、心から感謝申し上げます。

9月議会は約1カ月の会期を経て、10月13日に閉会しました。私は、10月1日に登壇の機会を頂き、主にコロナ問題を取り上げました。市民、県民の方々の命を守ることを最